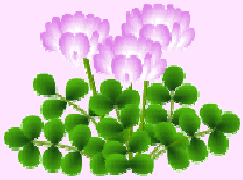
平成２２年６月〔創刊号〕

いきいき　かぐらざか

東京厚生年金病院　がん診療情報誌



〈れんげ草〉
れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。
東京厚生年金病院　がん診療委員会

東京厚生年金病院がん診療情報誌「いきいきかぐらざか」の発刊にあたって

副 院 長　　志田　晴彦

当院は「東京都認定がん診療病院」として、日々のがんの診療以外にもさまざまな取り組みを行ってきました。

「がん」は日常的な疾患です。平均寿命が伸びるにつけて多くなり、今日では２人に１人はどこかの臓器のがんに罹患するといわれています。それほど多い疾患ですから、全国のどこにでもしっかりと治療できる病院がなければいけません。「自分の家の近くにはがんの治療ができる病院がない」では困ります。もちろん大学病院やがんセンターなどは高いレベルのがん診療を行っている病院ですがその地域性や数には限りがあります。この点でそれらの病院以上に重要な役割を担うのは地域のための医療を展開する各地の市中総合病院です。

東京厚生年金病院は新宿区、文京区、千代田区の境に位置しますが、さらに広い範囲のクリニックや病院と連携し地域に根ざすがん治療を行っています。大学病院やがんセンターに負けない診療レベルを保ちつつ、総合病院ならではの良さを発揮しております。がんは心臓、肺、脳梗塞などのご病気をお持ちのご高齢の方に多い病気ですから、それらによるリスクに十分気をつけながらがんの治療を行わなければなりません。当院では各部門間が良く連携し、チーム医療としてご高齢の方やいろいろなご病気をお持ちの方に万全の態勢で対応しております。また検診、診断、治療から入院・在宅の緩和ケアまで治療の一貫性を誇りとしてがんの治療にあたっています。

「がん」は昔から「手術しても治らない」という先入観のもたれた疾患で、私が外科医になりたての頃（昭和 50 年代です）は患者さんに決してがんとは言わない時代でした。時が経ち医療の進歩とともに真実の説明が求められるようになり、がんと説明するのは当たり前で逆に病名を隠すことがいけないこととなりました。また、「手術しても治らない」から「手術すれば治ることが十分期待できる」さらに今では「早期発見なら内視鏡でも治せる」「できるだけ傷を小さくして治す」「手術と化学療法、放射線療法の組み合わせで治す」へと大きく変わってきました。再発した時も、もう一度手術をしたり、化学療法などで十分コントロールできるようになりました。がんが進行したときに起きる「痛み」に代表される辛い症状や社会的なさまざまな状況にも対応できるようになりました。

東京厚生年金病院では外科医、内科医、放射線科医、緩和治療医、薬剤師、栄養師、放射線や臨床検査、リハビリなどのさまざまな分野の技師さんたち、それにもちろん大勢の看護師さんたちがチームを組んでお一人のがんに対する治療に熱意をもって立ち向かっています。この情報誌では当院のがん治療の内容やさまざまな取り組みをご紹介し、皆様ががん治療を受ける際に安心、信頼できる病院と感じていただくための一助にしたいと考えています。ご意見、ご感想をいただけると幸いです。

東京厚生年金病院がん診療情報誌「いきいきかぐらざか」の発刊にあたって

緩和ケア内科部長・在宅緩和ケア支援センター長　川畑 正博

最近では国民の２人に１人はがんに罹り、３人に１人ががんで亡くなっています。1980 年にがんは死亡原因の第１位となり、今後、高齢化が進むにしたがって、がん患者さんの数はさらに増えていくものと思われます。

一方、手術、放射線、抗がん剤などによる治療法が着実に進歩し成果を上げています。その結果、がんが治癒する可能性は拡がってきており、また、完全に治らないまでもキャンサー・サバイバー（がんと向き合っている人）と呼ばれるがんを持ちながら長期にわたって療養を続ける患者さんが増えてきています。因みに、キャンサー・サバイバーという言葉には患者さんに加えて、ご家族や周囲の支える人達が含まれています。ただ、これまでがんの治療の面だけが強調され、患者さんの生活の質（QOL）はともすれば見過ごされてきました。がん患者さんは診断がついたときから治療の間、さらにがんそのものの治療が困難となった場合も含めて、不安などの心の辛さ、がんや治療に伴う辛い症状などと向き合わなければなりません。ここ数年、これらのがん患者さんの持つ心や体の辛さや痛みにもしっかりと対応すべきだという考えが広がってきています。そのような考えに基づいた医療が緩和医療、あるいは緩和ケアと呼ばれる分野です。

以前からホスピスあるいはホスピスケアという言葉がよく知られていますが、治療が終了した段階で受けるケアというイメージが強いのではないでしょうか。緩和ケアは、現在では、がんと診断された時から提供されるべきものという考えになっており、そのことは世界保健機構（WHO）や我が国のがん対策基本法でも明確に謳われています。当院は東京都がん認定病院に指定されており、最先端のがんの診断・治療と共に、質の高い緩和ケアを提供することが条件となっています。

当院には１７床の緩和ケア病棟があり、専門的な緩和ケアを提供しています。緩和ケアの対象となるのは患者さんだけでなく、ご家族も含まれます。緩和ケア病棟では専門的な知識や技術をもって患者さんの痛みなどの辛い症状を和らげます。患者さん、ご家族の不安や気持ちの落ち込みなどに対しては、病棟スタッフに加え専門の医師や臨床心理士による心のケアも行っています。がん患者さんはさまざまな困難を抱えており、ケアには医師、看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなど様々な職種のスタッフがチームを組んで当たります。ボランティアの方にも手伝っていただいています。ケアの方針については、患者さん、ご家族の意向を尊重し、相談しながら決めていきます。病棟は落ち着いた雰囲気で、面会時間にも制限はありません。また、病状が落ち着き、患者さん、ご家族が希望されれば、ご自宅での療養も支援します。さらに、

外科や内科などの一般病棟で治療を受けている方には緩和ケアチームとして痛みなどの辛さを和らげるように関わっています。

当院は東京都からの委託により**「東京都在宅緩和ケア支援センター」**（ホームページ：http://www.kanwacare.jp/）としての活動も行っています。支援センターの活動内容としては、

１）在宅療養あるいは緩和ケアに関するさまざまな問い合わせに対する電話相談

２）ホームページ上での在宅緩和ケア関連の医療情報の提供

３）医療従事者向け研修会および一般都民向け講演会の開催　が３つの柱です。これらの活動を通して、がん患者さんのご自宅での療養を支援しています。当院のがん相談支援室と合わせてご利用ください。

が ん 相 談 支 援 室 に つ い て

当院では、患者様、ご家族様、また地域の方々の「がん」についてのご相談をお受けするため、「がん相談支援室」を設置しています。

「がん」は日本人の２人に１人がかかるといわれており、多くの患者様がいらっしゃいます。治療方法が複雑であったり、再発への不安や、「がん」との生活が長期化する中で、様々な問題や心配事が生じることがあります。がん相談支援室では、そのような悩み、不安、心配事についてお話を伺い、ご一緒に考え、問題解決に向けてサポートしていきたいと考えています。

たとえば…

病気のことが不安だ
介護や看護の方法で悩んでいる
医療費や生活費のことで困っている
緩和ケアのことを知りたい
セカンドオピニオンについて知りたい
地域の往診医や訪問看護師を紹介して欲しい　など

ご相談は必要に応じて、院内の医師、看護師、薬剤師などの専門家や、地域関係機関との連絡調整を取りながら対応しております。内容についての秘密は厳守いたしますし、相談の費用はかかりません。どうぞお気軽にお越し下さい。

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）　午前９時～午後３時
場　　所：本館２階　がん相談支援室
担　　当：ソーシャルワーカー
相談方法：電話、電子メール、または面談で対応いたします。面談の場合は予約必要です。
連 絡 先：０３－３２６９－８１３７(ダイヤルイン)
　　ｍｓｗ@ｔｋｎ－ｈｏｓｐ．ｇｒ．ｊｐ

東京厚生年金病院のご案内

病院の理念

私たちは、患者さまの立場に立った親切で心温まる医療を提供し、地域住民が幸せで健康な生活を送れることに寄与します。

基 本 方 針

1．地域医療機能を推進します。
2．患者の権利を尊重し、安全で心温まる医療を提供します。
3．住民の健康維持増進に寄与します。

【診療科】２７診療科

整形外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外　科／脳神経外科
内　科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科
血液内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼　科／耳鼻咽喉科
小児科／精神科／放射線科／歯　科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科

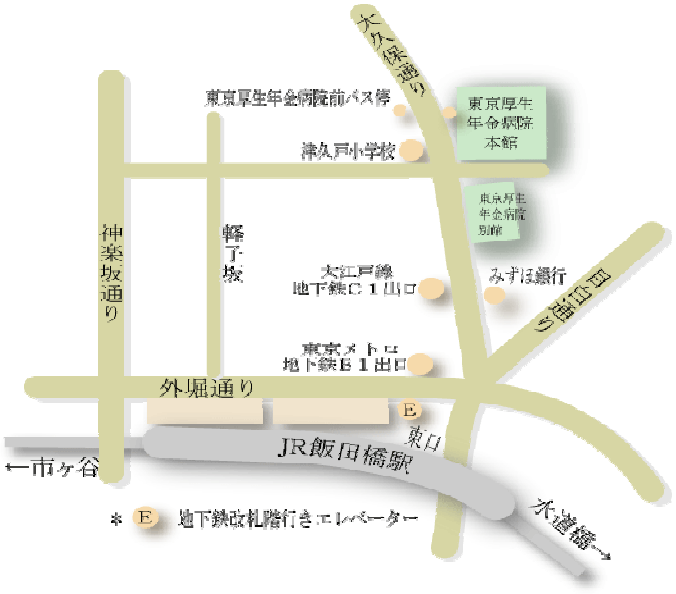
【病床数】520 床

【外来診療のご案内】診療受付時間　８：30～11：30（土曜・日曜・祝日は休診）
診療開始時間　９：00～

・(財)日本医療機能評価機構認定病院
・東京都認定がん診療病院
・東京都在宅緩和ケア支援センター
・臨床研修指定病院
・東京都ＣＣＵネットワーク加盟施設
・東京都指定二次救急医療機関

【交通案内】

〒162-8543　東京都新宿区津久戸町５－１
東 京 厚 生 年 金 病 院　℡ 03-3269-8111（代）



◆JR 総武線（中央線各駅停車）
飯田橋駅東口　徒歩５分
◆ 東京メトロ　東西線・有楽町線・南北線
飯田橋駅（B１出口）　徒歩４分
◆ 都営大江戸線
飯田橋駅（Ｃ１出口）　徒歩３分

＊当院に一番近い地下鉄出口「Ｃ１」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南北線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

発行：東京厚生年金病院 がん診療委員会